

F15C 主として計算または制御目的に用いられる流体回路素子(トランスデューサ F 1 5 B 5 / 0 0 ; 流体力学一般 F 1 5 D ; 流体素子から成る計算機 G 0 6 D , G 0 6 G)

7/00

体の製造

混成素子, すなわちグループ F 1 5 C 1 / 0 0 ~ F 1 5 C 3 / 0 0 に適合する複数の特徴を有する回路素子 [2]

注

“ マイクロ構造装置 ” と “ マイクロ構造システム ” に関するクラス B 8 1 とサブクラス B 8 1 B のタイトルの後の注に注意すること。 [7]

- 1/00 可動部分をもたない回路素子
- 1/02 ・ 細部
- 1/04 ・ ・ 流体装置に対して流体の流れを制御する手段, 例 . 電気的信号によるもの
- 1/06 ・ ・ 構造上の細部 ; 個々の材料の選択

注

グループ 1 / 2 2 がグループ 1 / 0 8 から 1 / 2 0 に優先。

[2]

- 1/08 ・ 境界層装置, 例 . 壁面付着形素子 [2]
- 1/10 ・ ・ デジタル動作用のもの, 例 . 論理的フリップフロップ, オアゲート, ノアゲートを形成するもの
- 1/12 ・ ・ ・ 同種の働きを行なうためのそれらの複数配列, 例 . 多数決ゲート, 一致ゲート
- 1/14 ・ 流れ相互作用形装置 ; 運動量交換形装置, 例 . 直交関係にある 2 つの噴流間の交換によるもの
- 1/16 ・ 渦流形装置, すなわち流弁中の渦運動に伴う圧力降下が作られるための装置
- 1/18 ・ 乱流形装置, すなわち制御流が層流を乱流にする装置
- 1/20 ・ 直接衝突形装置, すなわち 2 つの対向する同軸上の動力流が衝突させられる装置
- 1/22 ・ 発振器 [2]
- 3/00 可動部分をもつ回路素子 (弁, 弁の構造 F 1 6 K)

注

グループ 3 / 1 6 がグループ 3 / 0 2 ~ 3 / 1 0 に優先する。

[2]

- 3/02 ・ スプール弁を用いるもの
- 3/04 ・ ダイアフラムを用いるもの (膨脹可能な弾性体への弁の取り付け B 6 0 C 2 9 / 0 0)
- 3/06 ・ 球を用いるもの
- 3/08 ・ リードを用いるもの
- 3/10 ・ ノズルまたは噴射管を用いるもの
- 3/12 ・ ・ ノズルまたは噴射管が可動であるもの
- 3/14 ・ ・ ノズル噴流がしゃへい板にさえぎられるもの
- 3/16 ・ 発振器 [2]
- 4/00 特別の機能の特徴とする回路素子
- 5/00 流体回路素子の製造 ; 流体回路素子の集合